恵那大井宿の伊藤彌兵衛宅を行在所

三重県・京都府へと巡幸されるため 明治十三年 (一八八〇)、山梨県・ 皇がお泊まりになる場所のことで、

に中山道を通られ、六月二十八日、

年のことである。

行在所(あんざいしょ)とは、天

活用の運動を始めたのは平成二十一

私が明治天皇大井行在所の保存と

灯を出し、

隣村よりも集まれる群衆

は路を挟んで堵列して奉迎盛儀を拝

恵那大井宿行在所 この座敷と奥にある御便殿

と旅籠であった町屋に新たに増設されている。



岐阜県教育 各務原市須衛町 4-291 (株) 後藤孵卵場内 Tel 058-370-1510 口座番号 00800-3-5390

領

われわれは歴史と伝統を尊重し、日本にふさわ

しい中正な教育を推進する。

を張って、代々大切に保存していた。 れであったと思われるが、明治四十 十年の屋敷と五連の蔵などは朽ちる 屋へ移住し、空き家となった築百三 ように玉座のおかれた部屋にしめ縄 ったことを誇りにして、上の写真の その岩井家は明治天皇の行在所であ 三年、所有者は岩井家に移っている。 いを感じていかれたことが分かる。 地元民の作った和歌や詩が捧呈さ から県の状況を聞かれている。また と、行在所に入られ、県令小崎利準 天皇は御馬車で伊藤家に到着される 記されている。午後五時十五分頃、 観す」と恵那の人々の歓迎の様子が しかし、四十年程前に岩井家は名古 伊藤家にとってはこの上もない誉 天皇は地方の人々の暮らしや思

町屋の土間の復元などを行った。

づれも国旗を掲げ、軒 によると「当日駅家い とされたのである。 (大正十四年県発行) 「岐阜県御巡幸誌 けないかと考えるようになった。 る行在所を自分たちの手で守ってい そこで、屋敷の管理をしていた「行

明治天皇大井行在所の保存と活用

しぶろく大井宿会長

満

除をすることにした。最初に集まっ 募し、幸い採用されて補助金がつき うという事になり、当時、恵那市が とに協力者も増えていった。 岩井家の許可をもらって屋敷内の掃 在所保存会」と観光ボランティアの 募集していた "元気発信事業" に応 を前に呆然としたが、回を重ねるご た人は数人であったため、広い屋敷 「中山道かたりべの会」に呼びかけ、 やがて改造された部分を復元しよ

観光客への案内を行ってきた。その 在所の案内事業と町屋の活用事業を づくり協議会と地域有志を中心に行 お陰で年間五千人を超える来場者を 屋敷に交替で詰めてもらい、訪れる った。またボランティアを募集して イベントを募集して町屋の活用を図 能となったので、今度は大井町まち 屋敷がある程度整備されて使用可 まず地域住民の作品展示や

寸前となった。 その頃(十年

数えるようになった。

の精神とともに、明るく純粋な教育を研修する。 われわれは個人の自主尊厳を尊重しつつ、政治 われわれは教養と品位の向上につとめ、真理愛 会があり、 敷内を拝見する機 様子に驚くととも 前)、岩井家の屋 に、何とか由緒あ

的中立を厳守し、主体性を堅持する。

ばれ、土地・建物を恵那市に無償譲 物を市の歴史的風致維持向上計画に が私どものこうした活動を認め、 渡された。平成二十八年には恵那市 くの人々に活用されることを大変喜 平成二十七年、岩井家は屋敷が多

修推進を決定していただけた。 運営を行う団体として、 "しぶろく 大井宿』を新たに立ち上げた。 まだ事業は緒に就いたばかりだ 昨年十二月、行在所の整備後に

位置づけ、国の交付金を活用した改

史・文化的資源を活用し、中山道の 会で行う。 振興を行う「地域振興部会」の三部 齢者の生き甲斐づくりなどを行う 山道の歴史文化の保存伝承を行う することとした。実際の活動は①中 し、中山道沿線の賑わいの再生」を 住民の居場所づくりや生業を創出 歴史文化を後世に伝承するとともに 「居場所づくり部会」③観光や産業 「歴史文化部会」②子育て支援や高 活動の目的は「中山道大井宿の歴

定である。今年は新しい御代が始ま 連合会と協同しながら活動をする予 もらえた。今後は恵那市と大井自治 人ほどが集まり、熱心に議論をして 総会には個人、団体を含めて四十 気持ちを新たに地域振興の輪を

広げていきたいと考えている。

188 万(2)

明治150年記念

期日 平成三十年十二月十九日 「教育に関するシンポジューム」

主催 文部科学省 東館 三階講堂場所 文科省 東館 三階講堂場所 文科省 東館 三階講堂場所 文科省 東館 三階講堂

文科省がこのシンポジュームを企文科省がこのシンポジュームを企成の教育を見つめ、未来の時代にた明治の教育を見つめ、未来の時代にた明治の教育を見つめ、未来の時代にた明治の教育を見つめ、未来の時代になるといる。

み概要を報告する。 構成になっていた。ここでは二部の部が初等中等教育 (小中高) の二部の二部

講師が送大学教授・東京大学名誉成果と未来に求められる教育」基調講演「我が国の初等中等教育の

小川正人 氏

からの学校像を示した。
えて、次の三点について論じ、これえて、次の三点について論じ、これと敗戦後の復興期に匹敵する社会のと敗戦後の復興期に匹敵する社会の

戦前学校制度の展開
一、明治期における教育基盤整備と

景と学校教育の課題どもの貧困」問題の社会経済的背ニ、新学力(資質・能力)育成と「子ニステージと教育

戦後教育改革による近代化の第

明治期は西欧諸国に遅れをとって明治期は西欧諸国に遅れをとっていた近代化を図るため、国家主導でが担うのかということや地方で担方が担うのかということや地方で担方が担うのかということや地方で担方が担うのかということや地方で担方が担うのから、教育は国の事務とされ、学校の管理監督・維持管理を市町村が整備されてから、教育は国の事務とされ、学校の管理監督・維持管理を市町村が関うことに定まった。

進学要求も高まった。十%前後まで上昇し、上級学校への上別の主が、三十三年頃には九三十%程度であったが、二十三年頃三十%程度であったが、二十三年頃三十%程度であったが、二十三年頃

戦後は占領軍のイニシアチブのも 戦後は占領軍のイニシアチブのも を新憲法・教育基本法の制定による 教育理念の転換が図られたが、戦前 をいた。そして教育委員会制度、 承された。そして教育委員会制度、 承された。そして教育委員会制度、 公務員教員特例法、義務教育費国庫 負担制度など分立型教育行財政シス テムが構築された。

られ、教育においては明治以来の追学工業化による経済の立て直しが図また我が国の復興再建のため重化

いつき型近代化の政策がとられた。 と、高校・大学進学率は急拡大した。 も、高校・大学進学率は急拡大した。 もれ、学習内容の増大と高度化が図られ、学習内容の増大と高度化が図られ、学習内容の増大と高度化が図られた。との弊害が指摘されるようになるとその弊害が指摘されるようになるとその弊害が指摘されるようになるとその弊害がとられた。 五日制の導入や「ゆとり教育」に結びついていった。

八〇年代の社会経済構造の転換にて「生きる力」が求められるようにたって主体的に学習していく力としたって主体的に学習していく力としき歴社会への批判がおき、生涯にわ学歴社会への批判がおき、生涯にわけるがある。

また、九〇年代後半に入るとパソ はでできない創造性、経営・管理、 をてなしの能力が求められるように をす、企業・経済からも、変化の激なり、企業・経済からも、変化の激なり、企業・経済からも、変化の激 とい社会を生き抜くための課題解決 型の能力の育成を要請されるように 型の能力の育成を要請されるように なった。それが今日求められるように なった。それが今日求められる新学 さらに今日的な課題として「子ど もの貧困」への対応が求められる。

作ることであろう。
にとっての「プラット・ホーム」をムとしての学校」が必要で、子ども援のできる専門職員を入れた「チー援のだけでなく、福祉的、医療的支教員だけでなく、福祉的、医療的支えれらの課題を解決するためには、

パネルディスカッション

後半は基調講話をふまえて四人の後半は基調講話をふまえて四人の

「読解力こそ育てよ」

新井紀子 氏 国立情報学研究所教授

新井教授は八年前に「東ロボくん」新井教授は八年前に「東ロボくん」では、カエ時代に仕事をないかを解明し、カエ時代に仕事をないかを解明し、カエ時代に仕事をないかを解明し、カエ時代に仕事をおか必要かを解明しようとした。その結果、高度な読解力・常識・人間らしい柔軟な判断の分野が大切だ問らしい柔軟な判断の分野が大切だと結論した。

判明したからである。 単明したからである。 単明したからである。中高生の三人に一人、高校生の十人に学生の三人に一人、高校生の十人に学が読めないことが、中では、日本の中高生の読解力は

したがってこれからの教育は教科

必要だろう。

"はぐくみ文化"」 「歴史に学び 今を見据え 未来社

京都は明治維新によって都の地位京都は明治維新によって都の地位京都は明治維新によって都の地位京都は明治維新によって都の地位京都は明治維新によって都の地位で、った。しかし、市民の力で人を育て、った。しかし、市民の力で人を育て、った。しかし、市民の力で人を育て、った。しかし、市民の力で人を育て、った。しかし、市民の力で人を育て、った。しかし、市民の力で人を育て、った。明治二年には「番組」と呼ばれる自治組織ごとに小学校をと呼ばれる自治組織ごとに小学校を書談している。また明治半ばには、京都は明治維新によって都の地位を対している。

戦後は厳しいイデオロギー対立のなか、公教育を守り発展させてきた。 なか、公教育を守り発展させてきた。 い諸条件のなかでこそ「ほんまものができると教育関係者は情熱をもっができると教育関係者は情熱をもって努力した。明治以来の伝統である で努力した。明治以来の伝統であるで努力した。明治以来の伝統であるで努力した。明治以来の伝統であるである。 しまる 」教育改革を推進し、全教員は指導計画を校長に提出し、授業も指導を承げている。 全中学校ブロックでの小中一貫教育を推進し、全教員は指導計画を校長に提出し、授業も指導を承げている。 全中学校づくり」を目標に、学校運営協

量、校長裁量を拡充している。学校と家庭、外部評価、子どもによる授生が進出している。そのため学校を築き、外部評価、子どもによる授生校で推進している。そのため学校業評価を含めた学校評価システムを業評価を含めた学校評価システムを業評価を含めた学校評価システムを業評価を含めた学校評価システムを業評価を含めた学校評価システムを業評価を含めた学校評価システムを、

工藤勇一(氏の水があり、八本の一)、千代田区立麹町中学校長「麹町中学校の特徴的な取組み」

エヨ 寺弋の寺子屋では社会で必要 エヨ 寺弋の寺子屋では社会で必要 場で考えることだと思う。 と教師の立場で考えてきた。これからは①何を学んで(カリキュラム)②どう学ぶか(学び方)と生徒の立場で考えることだと思う。

江戸時代の寺子屋では社会で必要とした「読み書き算盤」(カリキュラムを逆算し、学ぶムタイルは人と人が双方向で学び合ム)を学び合ってきた。学ぶ内容はム)を学び合ってきた。学ぶ内容はム)を学び合ってきた。学ぶ内容はム)を学び合ってきた。学ぶ内容はとい大切。

①様々な場面で言葉や技能を使いことによって多様な人材を生み出すことにある。麹町中学校は次の生徒にとによって多様な人材を生み出すことによって多様な人材を生み出すことによって多様なる人材を生み出する。

有効に活用する②信頼できる知識や情報を収集し、

⑤ルールを踏まえて建設的に主張す④見通しをもって計画的に行動する③感情をコントロールする

⑧意見の対立や理解の相違を解決すする
の目標を達成するために他者と協働

「編集部」 単なる知識の道徳で終わる。(Y)立や理解の相違を解決す ての場面が道徳教育の場でなければ

る▲人はそれを常に意識し、正しい 中で生まれ育まれた価値の体系であ 無にあり、法律より上の次元にある。 そもそも人と動物の違いは道徳の有 年から、中学校はこの四月からだ▲ 徳科の授業が始まった。小学校は昨 常識として受け入れられている。理 とその国独自の道徳があり、それが 学校の授業で教えられてこなかった 観が多様化したと言われるが、長年 る行動をとりかねない▲今日は価値 判断を心がけていないと、咄嗟の場 道徳はどの国においても長い年月の のかを生徒と共に追求したい。学校 らし、何が価値なのか、なぜそうな に頼らず、まず徳目を教え知識とし 領は道徳でも「考える」ことを推奨 れば、それは弱虫のする恥ずべきこ たれたら左の頬を出せと言う国があ 七代後までも仇を討て。右の頬を討 に合わなければ人を殺してもいい。 いる▲世界の道徳には共通する内容 し」等の言葉は、今も我々を律して 合はおろか日常生活でも道徳に反す は校門をくぐって下校するまでの全 て定着させたい。その上で日常に照 しているが、科学的手法と経験だけ とだという国もある▲新学習指導要 「恥ずかしくないのか」「恩は返すべ 【微風烈風】検定教科書を使った道

文部科学省主催

「教育に関するシンポジューム」

に参加して

成の時代がその区切りとなる。 それと合わせて、ここしばらく世 五〇年の後半が終わる。しかも平 今年は戦後七十四年となり、 岐阜県教育懇話会事務局 橋本秀雄 明治

界で起きている事柄は、想像もしな

基調講演は明治から今日に至るま

導要領が改訂されるたびに教育内容

が増えてきた。順不同だが消費者教

かった事が多く、素人ながら時代の

再生の歴史に学ぶ必要がある。 民の意識と努力にかかるのであろう。 貢献できるかどうかは、一に我々国 至る前半の飛躍と後半の挫折からの 考えるためには明治から昭和初期に 定した力と誇りある国として世界に 転換点を迎えていると実感する。 新たな時代も、日本が引き続き安 では我々は何をすべきか。それを

講演と五~六名のパネルディスカッ ションがあり独立した形で行われた。 整備を行った先人の志の高さと活力 とげ、急速に高等教育・専門教育の する中、教育の近代化を短期になし 教育の二部構成で、それぞれに基調 いう趣旨であり、大いに期待した。 代を見つめ未来の教育を展望すると 催挨拶があった。列強のアジア進出 最初に栗山昌彦文部科学大臣の開 その点、今回の企画は明治から現 一部は高等教育、二部は初等中郷

> たいと会の趣旨を話された。 び、これからの諸課題に立ち向かい に驚くとともにその貴重な体験に学

表があった。 を踏まえた五人のパネラーによる発 誉教授による基調講演があり、 術研究の芽生えと発展」と題した、 元東京大学総長の佐々木毅同大学名 一部は「高等教育機関における学 、それ

定されて新たな教育理念の構築に至 り、国民の生きる指針として大きな た教育勅語は戦前の教育の柱でもあ 内容については触れられていなかっ 歩みが主な内容になっていて、教育 もに教育機関の整備、教育行財政の 各学校の特色ある取組が紹介した。 は地方大学の歩みや創設の理想など ターをもとに発表された。パネラー 留学生の派遣、お雇い外国人のデー たかを高等教育体系、予算・授業料、 ったかも話題にならなかった。 語が戦後にどう承け継がれ、また否 もその点に言及がなく、また教育勅 影響があった。しかし、どの発言に た。例えば明治二十三年に渙発され 記録したが、基調講演が一、二部と で、大学がどのように整備されてき 二部は本紙二~三ページに概要を

通の認識は、 れからの教育の在り方であった。共 最も熱心に議論されたことは、 今日のような不確定で

本に迫る意見であったからである。 であった。いずれも今日の教育の根 見俊哉教授の「足し算の限界」の話 井紀子教授の「読解力の指導」と吉 変化の激しい社会に生きる子供たち へどんな力をつけるかであった。 その中で考えさせられた事は、 義務教育でいうとこれまで学習指

新

き算」「割り算」がないのである。新 ミング教育が加わり、その他に小学 点を置くべきと主張されるのだ。 井教授はそこで「読解力」にこそ重 の教育は「足し算」は得意だが、「引 校では英語教育の本格実施がある。 たわれてきた。来年からはプログラ 教育、国際理解教育等の必要性がう 育、キャリア教育、同和教育、福祉 吉見教授の言葉を借りると、日本

ているが、多くの内容を抱えたまま 上のしつけ、校外の生活指導など多 教員の勤務の軽減が図られようとし くの事柄を抱えてきた。 科・道徳・特別活動等の他に、生活 現在、学校の働き方改革が叫ばれ 確かに今日の学校は、 本業の教

楽コンクールに参加する小学校は激 すでに岐阜県のNHK全国学校音 すます中身のない教育に終わる恐れ で勤務時間の削減をしていけば、ま

> 望んでいる活動を削って、高度な「主 内容を整理し、学年の発達段階を追 体的で対話的な深い学び」の授業等 減していると聞く。中学校も部活動 って基礎から応用・発展する教育シ えた現代版「読み書き算盤」に教育 付けさせることにある。次代を見す にあり、そのための基礎基本を身に もの成長に即しているだろうか。 に教育資源を集中することは、子ど の軽減が決まっているが、子どもが 学校の普遍的使命は日本人の育成

御案内

ステムを再構築する時ではないか。

平成三十一年度岐阜県教育懇話会総会 ハートフルスクエアG二階和会議室 平成三十一年三月三十一日(日) 午前九時三十分~十時 午前十時十五分

「明治初期の岐阜県の教育」 前県立高校長 坂口浩之氏 ~十一時四十五分

第五十九回日本教師会教育研究大会

期日 ハートフルスクエアG二階中研修室 平成三十一年八月三・四日(土・月) 後援:岐阜市教育委員会 「新しい時代を切り開く国民教 育の在り方」

「日本を取り戻す教育」 麗澤大学特任教授高橋史朗氏